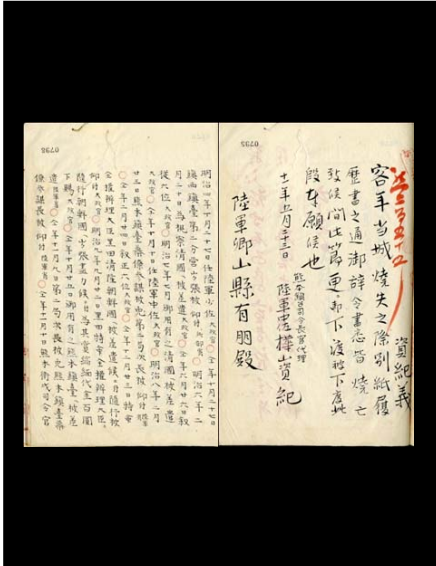


平成 23 年度は、歴代陸海軍大臣の中から毎号一人を取り上げて、図書館史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

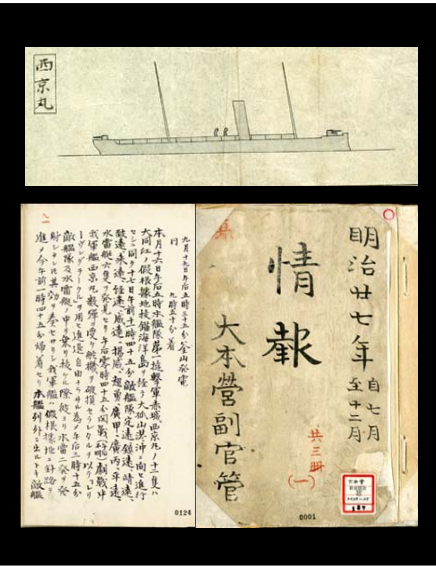
かばやま すけのり  
《 樺山 資紀 1837～1922年 》  
一陸海両軍で活躍した異色の軍人一



樺山資紀辞令書御下渡伺

(登録番号：陸軍省一大日記-M11-20-44)

樺山資紀大將は、明治 4 年 10 月、陸軍少佐に任ぜられた後、熊本鎮台の参謀長として西南戦争を戦うとともに、明治 17 年には軍籍を海軍に転じ、海軍大臣、台湾総督等の要職を歴任しました。この史料は明治 11 年 5 月、熊本鎮台司令長官代理の同大將（当時陸軍中佐）が、西南戦争において熊本城の焼失により失った辞令書の再交付を山縣陸軍卿に願い出た「樺山資紀辞令書御下渡伺」です。同伺には「客年当城焼失之際別紙履歴書之通御辞令書悉皆焼亡致候間此節更ニ御下渡被下度此段奉願候也」とあり詳細な履歴書が添付されています。この願いは聞き届けられ十四通の辞令書が再交付されることになりました。



海戦情報 大同江港外 軍艦西京丸

(登録番号：大本営一日清戦役雑-M27-25-137)

樺山大將は海軍軍令部長として日清戦争を戦いました。この史料は明治 27 年 9 月 17 日、軍令部長の要職にあった同大將（当時中将）が自ら軍艦西京丸（上図、「日清海戦史 黄海役 附図」登録番号：海軍省-⑪日清-M27-33）に乗り組んで黄海海戦に参加した際の「海戦情報」です。「午后零時四十五分開戦・・・劇戦中我軍艦西京丸数弾ヲ受ケ舵機ヲ破損セラレタルヲ以テ・・・敵艦隊及水雷艇ノ中ヲ乗り抜ケル際彼ヨリ水雷二発ヲ・・・」と軍令部長名で大本営宛に緊迫した戦闘の様相が報告されています。舵を損傷した西京丸は清国艦隊の中を突破して無事に仮根拠地である大同江（朝鮮）に帰還しました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。  
詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。  
防衛研究所企画室  
専用線：8-67-6522、6588 外線：03-3713-5912  
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp  
※ 防衛研究所ウェブサイト：http://www.nids.go.jp